



# 人権センター図書だより

Vol.43 令和7年11月5日発行



発行:四日市市人権センター  
TEL.354-8609 FAX.354-8611  
jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

## 12月7日(日)『じんけんフェスタ 2025』を開催します

～毎年12月4日～10日は人権週間です～



1948(昭和23)年12月10日、国際連合総会で『世界人権宣言』が採択されました。

じんけんフェスタ 2025 のご案内

その後、日本では1949(昭和24)年に、毎年12月10日を最終日とする1週間が「人権週間」と定められたことを受け、全国各地で啓発活動が行われます。

本市においても今年は **四日市市勤労者・市民交流センター** を会場に、  
**『じんけんフェスタ 2025』**を開催します。

“一人ひとりが人権を尊重する心”、“相手の気持ちを考える心”、“違いを認め合う心”を育んでいただき、広く人権について考える機会にしていただければと思います。

### 【東館3階 大会議室】

#### 午前の催し

人形劇団 むすび座 開演 10:00～



### 【本館1階 多目的ホール】



#### 午後の催し

映画「おしりたんていさらば愛しき相棒よ」

開演 13:00～



© トロル・ボプラ社/2024「映画おしりたんてい」製作委員会

詳細はHP、広報よっかいち等をご覧ください。

人権週間記念映画

## 「父と僕の終わらない歌」

午前の部  
10:00～

午前の部  
13:30～

手話通訳・要約筆記有  
(映画は字幕つき)

記念映画の小説 歌おう。人生は明るい。アルツハイマーの父と、その息子が奏でた奇跡。

『小説 父と僕の終わらない歌』(H-67 三嶋 龍朗(著) | 協力 小泉徳宏 講談社文庫)

世界を感動させた奇跡の実話が、日本を舞台に映画化!

かつてプロを目指していた、音楽を愛する父・哲太。息子の雄太はそんな父が大好きだったが、アルツハイマーに冒されてしまう。次第に家族を認識しづらくなり、粗暴になり、歌をうたうことさえ忘れてしまった。

あるとき、カーステレオから音楽を流すと、助手席の哲太が歌い始めた。雄太は父とのデュエットを録画し、SNSにアップすると、瞬く間に世界中に拡散され、反響を呼んだ。

しかし哲太の病状は進み、家族は限界を迎えていた――。

# 新着図書

入荷月	書名	著者名等	出版社等	分類番号
8月	こじらせない家族 アサーションとバウンダリーから学ぶ正しい距離の保ち方	渡辺 裕子	現代書館	J-5 - 306
9月	その人らしさなくならない <span style="background-color: #e0f2ff; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">絵本</span>	恩蔵 紗子	大泉書店	H - 68
10月	ことばに潜むジェンダー 学校・本・テレビ・日常のなかのもやもや	遠藤 織枝	明石書店	G - 135
10月	ハサン中田考の マンガでわかるイスラーム入門	中田考& 天川まなる	サイゾー	B - 90
10月	ケーキの切れない非行少年たち 9	(原作)宮口幸治 (漫画)鈴木マサカズ	新潮社	I5 - 12
10月	ケーキの切れない非行少年たち 10	(原作)宮口幸治 (漫画)鈴木マサカズ	新潮社	I5 - 13
10月	ケーキの切れない非行少年たち 11	(原作)宮口幸治 (漫画)鈴木マサカズ	新潮社	I5 - 14
10月	普通にできない子を医療で助ける	宮口幸治 著 佐々木昭后 作画	扶桑社	I5 - 15

## 新着図書より紹介

家族関係リテラシー 身近な人権をわかりやすく

### 『こじらせない家族』

アサーションとバウンダリーから学ぶただし距離の保ち方』

(J-5-306 渡辺裕子 (著) 現代書館)

家族関係は複雑で、こじらせることも多いものです。しかし、私たちは「家族」について正式に学ぶ機会がなく、問題が表面化するまで放置しがちです。本書では、「家族関係リテラシー」という新しい視点を提案し、ジェンダー規範や固定観念を解体しながら、家族関係を見直す重要性を説きます。具体的には、「人権」、「バウンダリー」、「アサーション」などの概念を活用し、家族間の問題を解決する方法を提示します。「家族は他人」という意識を持ち、繊細で丁寧な関係を築くことが大切であり、問題をこじらせないための実践的な指針を提供する一冊です。

家族関係における身近なトラブル事例を参考にしながら、大切な人の豊かな関係づくりについて一緒に考えてみませんか？

認知症でも自分らしく生きられる社会を目指して…

### 『その人らしさ なくならない』

(H-68 恩蔵紗子 (著) 大谷たらふ (イラスト) 大泉書店)

認知症になった母親と、寄り添う娘の姿を描いた絵本です。高齢化が進む中、認知症は多くの人にとって身近な課題となっています。この絵本は、アルツハイマー型認知症の母親と脳科学者である娘・恩蔵紗子の実体験をもとに綴られています。また、イラストは人気アニメーション作家の大谷たらふが手がけており、優しく温かなメッセージが伝わってきます。

2024年1月施行の「認知症基本法」は、認知症になっても尊厳を保ちながら地域とつながり、自分らしく生きられる社会を目指す方針を掲げています。この絵本は、こうした「新しい認知症観」を背景に、多くの方々に読んでいただきたい一冊です。

さらに巻末には「脳科学者から見た認知症」という解説を10ページ以上収録。科学的な知見も深められる構成で、子どもから大人まで世代を超えて多くの人に読んでもらいたい絵本です。

イスラームに関する素朴な疑問や歴史、ISまでをQ&Aでわかりやすく解説！

### 『ハサン中田考のマンガでわかるイスラーム入門』

(B-90 中田考 & 天川まなる 株式会社 サイゾー)

イスラーム（イスラム教）の基本を知るのに格好の一冊です。日本人イスラーム法学者であるハサン中田考先生に、エッセイマンガ家の天川まなるが質問するQ&A形式で記述されており、イスラームの基礎を学ぶことができます。質問は、素朴な疑問や歴史、そしてISなどの時事問題にまで及びます。

世界の人口の約4人に1人がムスリム（イスラム教徒）です。その中で最も人口が多いのはインドネシア人です。このような状況の中、三重県は今年8月、インドネシア移住労働者保護省が所管する特定技能労働者の育成・送出し・受入れ促進に関して両者で協力ためのMOUの締結をしました。ムスリムが身近な存在となっている今、イスラームについて改めて学んでみてはいかがでしょうか？